

Q & A

Q1 土浦三高の雰囲気はどうか？ どんな校風ですか？

A. 本校は今年度、創立80周年という大きな節目を迎えました。霞ヶ浦を一望する緑豊かな高台に位置し、四季の移ろいを感じる落ち着いた学び舎には、近隣市町村から高い志を持つ生徒たちが集っています。何事にも真っ直ぐに取り組む生徒たちは学業と部活動を両立させており、互いに切磋琢磨しながら自分自身を磨き上げる、最高の環境があります。

Q2 普通科と商業に関する学科で迷っていますが？

A. 普通科は、幅広い科目をバランスよく学び、主に大学進学を目指す学科です。3年間を通じて自分の興味を広げながら、じっくりと進路を決定したい人に適しています。商業科は、経済やビジネスの基礎、ITスキルや簿記などの専門資格を取得できる学科です。「実社会で役立つ武器」を早くから身につけたい人に最適です。進学率も大幅に増加し、資格を活かした大学進学に強いのが特徴です。本校では学科間の壁がなく、お互いの目標を尊重し合う風土があります。悩んだときは、いろいろな人に相談してみてください。

Q3 普通科のカリキュラムは？

A. 令和9年度入学生より一部カリキュラムを変更します。2年生では文型・理型の区分をより明確にし、それぞれの進路に必要な科目に集中して取り組めるよう授業時数を最適化します。文型では国語・社会の授業数を、理型では理科の授業数をそれぞれ拡充します。3年生では多様化する文系の進路希望にきめ細かく対応するため、文型をさらに2つのコースに分けます。Ⅰ類型は共通テストや二次試験を見据えた多科目学習に対応し、Ⅱ類型は特定の受験科目を集中的に強化し、効率的な学習を目指します。

Q4 商業に関する学科の「くくり募集」とは？

A. 入学時は学科を分けずに一括で募集し、1年間の学習を通して自分に合った専門学科を選べる制度です。本校の商業に関する学科（商業科・会計ビジネス科・情報処理科）では、学科ごとの募集ではなく、これら一つにくくって募集しています。1年生は全員が共通の科目を学び、ビジネスの基礎知識を幅広く身に付けます。そのうえで、自分の興味や適性を見極め、2年次から各学科に分かれて専門性を深めます。合格してから、じっくり進路を決められるのが、この制度の最大の魅力です。

Q5 文理選択（普通科）および選科（商業に関する学科）について教えてください

A. 将来に関わる大切な選択ですので、本校では生徒が納得して決断できるよう、万全のサポート体制を整えています。進路講演会や大学見学会などのガイダンスを早期から実施し、社会への視野を広げたい一方で、自分の適性を見極める機会を豊富に設けています。また、担任によるきめ細やかな個人面談を繰り返し行い、一人ひとりの希望や悩みに寄り添ったアドバイスを徹底しています。さらに、保護者対象の説明会も実施しており、ご家庭と学校が連携して、生徒が自信を持って未来を選択できるようサポートします。

Q6 商業に関する学科に入学すると、大学進学は難しいですか？

A. 進学実績は非常に高く、進学・就職どちらの夢も全力でサポートする体制が整っています。商業に関する学科の卒業生の約55%が大学へ進学しており、茨城大学などの国立大学への合格者も輩出しています。最大の強みは、日々の学習で取得した簿記や情報処理などの高度な資格を活かせる点です。これらを武器に、総合型選抜や学校推薦型選抜（商業科推薦など）を活用することで、普通科とは異なるルートで有名大学を目指すことができます。専門知識を強みに変え、将来の目標に直結する大学進学を叶えられるのが商業に関する学科の大きなメリットです。

Q7 授業の進度は速いですか？ 課題は多いですか？

A. 中学校に比べると学習量も多く、進度は速く感じるかもしれませんが、しかし、無理なく着実に実力をつけられるよう、丁寧な指導を心がけています。授業では基礎から応用までを段階的に扱い、つまづきやすい箇所は重点的に解説します。課題については、日々の家庭学習を習慣化するための適切な量を提示しています。特に週末や長期休業中には、これまでの復習や入試対策を見据えた課題が出されますが、部活動や行事との両立ができるよう、計画的に取り組む指導もあわせて行っています。

Q8 課外授業はありますか？

A. 放課後や夏休み・冬休みなどの長期休業中に、希望者を対象とした課外授業を実施しています。基礎の定着を目的としたものから、大学入試対策を見据えた応用まで、習熟度や進路に応じた講座が開設されます。

Q9 商業科目は難しいですか？

A. 商業科目は高校入学後に初めて触れる新しい分野です。スタートは全員一緒ですので、日々の授業を大切にすることで、誰でも着実に力をつけることができます。簿記や情報処理、ビジネス基礎といった科目は、普通科では体験できない専門的な学びです。将来のビジネス社会で即戦力となる知識や技術をひと足先にものにできる絶好のチャンスです。新しい自分に出会うつもりで、前向きにチャレンジしてみましょう。

Q10 検定試験に合格するのは大変ですか？

A. 検定試験は、自分の学びの成果を確認するための大切なステップです。普段の授業を一つひとつ理解していけば、無理なく合格に手が届くようカリキュラムが組まれています。特に、簿記や情報処理などの大きな試験の前には集中課外授業を実施しています。同じ目標をもつ仲間と切磋琢磨しながら合格を目指す環境を十分に整えていますので、自信を持って挑戦してください。

Q11 サポート・ティーチャーとは？

A. 本校では、卒業生を含む近隣大学の学生による学習支援プログラムを導入しています。近年は筑波大学、茨城大学、茨城県立医療大学を中心に多くの大学生が「サポート・ティーチャー」として登録し、生徒たちの学びを支えています。支援内容は、探究活動のサポートをはじめ、英検指導、大学進学希望者への面接・小論文指導、進路相談など多岐にわたります。年齢の近い大学生に刺激を受けながら、意欲的に自学自習に取り組んでいます。生徒が気軽に相談できる環境を整え、一人ひとりの志望進路実現をバックアップします。

Q12 部活動は活発ですか？ 勉強と部活動の両立はできますか？

A. 本校には11の運動部と12の文化部があり、各部とも高い目標を掲げて活動し、関東大会や全国大会へ出場するなど、県内屈指の実績を誇る部活動も少なくありません。本校の部活動加入率は約80%と非常に高く、ほとんどの生徒が放課後は部活動に打ち込んでいます。限られた時間の中で集中して学習に取り組むため、時間を有効に使う能力が身につきます。部活動で培った体力や精神力は、受験勉強を乗り切る大きな力にもなります。このように、多くの生徒が「文武両道」を実践し、充実した高校生活を送っています。

Q13 商業に関する学科の部活動にはどんなものがありますか？

A. 簿記部、ワープロ部、珠算・電卓部、情報処理研究部といった、専門性を活かした部活動が活発に活動しています。特に、簿記部やワープロ部は、毎年全国大会に出場し、県トップレベルの活躍を見せています。

Q14 学校行事はどのようなものがありますか？

A. 三高祭（文化祭）やクラスマッチ、歩く会、スキー教室など、1年を通じて思い出に残るイベントが目白押しで、生徒会や実行委員会を中心となって企画・運営を行います。自分たちの手で行事をつくり上げる達成感は、三高ならではの貴重な経験となります。仲間と協力し、熱中できる環境が整っています。

Q15 修学旅行はありますか？

A. 例年2年生の11月に実施しています。行先は保護者アンケートで決定しますが、近年は関西・広島方面を訪れることが多くなっています。広島での平和学習、宮島での自然学習、USJ研修、大阪見学など充実した内容となっています。

Q16 学校で使うタブレット端末は指定のものがありますか？

A. iPad、Chromebook、Windows等、どの端末を使用しても問題ありません。県立学校では「Google Workspace for Education」を学習支援サービスとして使用することから、本校ではGoogleのアプリとの親和性が高いChromebookの使用を推奨しています。

Q17 授業でタブレット端末をどのように活用していますか？

A. 教員からの課題配信や、クラス全員の意見を画面上でリアルタイムに共有して議論を深める「双方向型」の学びを実践しています。また、インターネットを活用した調査、スライド作成、動画編集など、ICTを駆使してアウトプットの場を広げる授業も活発に行っています。丁寧な指導と最新のデジタル技術を融合させることで、これからの時代に求められる「自ら考え、表現する力」を養います。

Q18 車での送迎は可能ですか？

A. 送迎自体は可能ですが、生徒の安全確保のため、校内（敷地内）への車両の乗り入れは原則として禁止しています。学校周辺で乗降される際も、歩行者や他の車両の妨げにならないよう、交通ルールを遵守し、細心の注意を払っていただくようお願いしています。

Q19 自転車通学に許可は必要ですか？

A. 通学に自転車を使用する場合は、校内への乗り入れの有無にかかわらず、すべて登録制となっています。入学後に、交付された本校指定のステッカーを車体の見えやすい位置に貼付することになっています。

Q20 アルバイトはできますか？

A. 許可制としています。ただし、経済的事情でやむを得ず従事しなければならない場合に限りです。

Q21 スマートフォンの持ち込みは可能ですか？

A. 持ち込みは可能ですが、授業中の使用は禁止しています。ただし、授業で教員が許可した場合は、授業のサポートツールとして活用することがあります。

Q22 購買はありますか？

A. 昼食時にパンの販売を行っています。3・4時間目の休み時間や昼休みに、作りたてのパンなどを手軽に購入することができます。支払いは現金のほか、PayPayも利用可能で、多くの生徒が活用しています。また、校内には自動販売機も複数台設置されています。